

令和5年砺波市教育委員会第9回定例会議事録

1 開会及び閉会に関する事項

開催日時 令和5年9月26日（火） 午後2時00分～午後2時52分

開催場所 砺波市役所 東別館会議室

2 教育長及び出席委員の氏名

白江 勉、林 克彦、齋藤 正樹、信田 千春、岩崎 納子

3 会議に出席した者の氏名

森田 功（事務局長）、河合 実（教育総務課長）、老 雅裕（こども課長）、三井 康司（生涯学習・スポーツ課長）、北島由紀子（教育センター所長）、廣瀬 敬一（中学校長会長）、柳原 清美（保育所・認定こども園・幼稚園長代表）、肥田 啓生（教育総務課主幹）、大浦 昭子（教育総務課庶務係主査）

4 会議に付した事項

（1）前回議事録の承認

（2）教育長報告

- ・8月砺波市議会定例会について
- ・事務局（教育総務課、こども課、生涯学習・スポーツ課）から

（3）議事

ア 議決事項

- ・議案第31号・・・砺波市教育委員会行政規則の一部改正について
- ・議案第32号・・・砺波市教育委員会職員の人事異動等について

イ 報告事項

- ・その他・・・教育関係機関所管事項について
（教育センター、小・中学校、保育所・認定こども園・幼稚園）

5 会議の要旨

教育長

令和5年砺波市教育委員会第9回定例会の開会を宣言する。
出町中学校のホームページを見ると校長室のコラムに「研修に励む」があった。本日教育委員の皆さんにも庄川小学校の学校訪問研修会に参加いただいた。自治振興会長さん方も来校されており、地区の皆さんの子供たちに対する熱い思いをあらためて感じた。これに答えるべく庄川小学校では子供主体で自由に動いたりして活動する姿が多く見られ嬉しく思った。子供たちの活躍という点では昨年度、庄西中学校吹奏楽部が全日本マーチングコンテストで金賞、全国ベスト8の快挙があった。今年は出町中学校合唱部が中部日本で金賞さらに中学校ナンバーワンだけではなく高校、大学、一般の各部門総合ナンバーワンの素晴らしい快挙だった。部員はわずか15名ほ

どの少ない人数でも琴線に触れる素敵な歌声を響かせたものと大変嬉しく思っている。また先日の総合防災訓練に出町小学校が参加し子供たちの充実した表情が見られたほか、何より大人が笑顔だった。話は変わり昨日から14歳の挑戦が始まった。至るところで子供たちが活躍している姿を見ることは嬉しい。最後に、小中高との連携で先日高校の校長先生と話をする機会があり10月2日出町小学校の研究発表会を参観していただくことになった。多くの目で子供たちの活躍を見守ることが大事であると再認識している。それでは、前回議事録の承認について諮る。

教育委員

異議なし。

教育長

8月砺波市議会定例会について報告を求める。

事務局長

<市議会定例会について報告・説明>

教育長

第8回定例会から今日までの行事等報告を求める。

教育総務課長

<総括的事項について報告・説明>

<教育総務課所管分の事業について報告・説明>

こども課長

<こども課所管分の事業について報告・説明>

生涯学習・スポーツ課長

<生涯学習・スポーツ課所管分の事業について報告・説明>

教育長

ここまでで質問はあるか。

齋藤教育委員

「子供運動教室・小学校体育指導」について鷹栖小学校が数回実施する理由は何か。

生涯学習・スポーツ課長

学年毎に分けて実施すると聞いている。

齋藤教育委員

令和6年度保育所・認定こども園入所受付が10月16日から10月31日までとなっているが受付期間が過ぎた後に妊娠が分かって次年度途中から入所させたい人がいた場合どうになるのか。

こども課長

基本、生後6箇月以上経過していないと預かれないため、まず話を伺って調整の枠に入らせていただくことになる。

教育長

ほかに質問はあるか。

教育委員

質問なし。

教育長

議事に移る。

教育総務課長

議案第31号について説明を求める。

説明<議案第31号 砺波市教育委員会行政規則の一部改正について>

教育長

質疑はあるか。

議決してよろしいか。

教育委員

全員賛成。

教育長

議案第32号について説明を求める。

事務局長

説明<議案第32号 砺波市教育委員会職員の人事異動等について>

教育長

質疑はあるか。

議決してよろしいか。

教育委員

全員賛成。

次に報告事項に移る。教育関係機関からの報告を求める。

教育センター所長	<教育センター所管事項について報告・説明>
中学校長会長	<小学校・中学校所管事項について報告・説明>
保育所・認定こども園・幼稚園代長	<保育所・認定こども園・幼稚園所管事項について報告・説明>
教育長	質疑はあるか。
林教育長職務代理者	前回の質問は、夏休み中にタブレットを使って行う宿題の例をあげてほしいという意味だった。
教育センター所長	9月から小中学校はタブレットを持ち帰っている。家庭での使い方については、今後、ホームページに順次掲載していく。
齋藤教育委員	家庭で料理した写真を送る宿題の話聞いて、確かに伝わると思う。
教育センター所長	言われてからやるのではなく、いろいろ紹介する中で自分で動いてくれることを期待している。
教育長	庄川小学校の学校訪問研修の理科で亀を写して学習していた。いろいろな使い方を紹介すればよい。
齋藤教育委員	自分たちで撮った写真が写し出されて嬉しかったのだろう。
	話は変わるが小中学校長会に聞く。地区新人戦で1位になった種目がたくさんあったが砺波地区で何割ほどだったか。
中学校長会長	割合で答えるのは難しいが、団体では22団体中およそ半分だった。
齋藤教育委員	子供たちが頑張っているのは本当に嬉しい。
岩崎教育委員	子供が14歳の挑戦で造園業を体験している。社長さんが睡眠時間をたくさん取るように言われたと、実際に疲労したのかしっかりと睡眠を取っている。電動工具を使うなど、いろいろな仕事や貴重な体験をさせてもらっている。
教育長	意見交換に移る。
林教育長職務代理者	広報10月号にR1の記事中、前回アンケートの結果が載っていた。「住んでいる町が好きですか」の質問に小学校ではおよそ95%がとても好きまたは好きを占めていて中学校では91%が同様の回答だった。「自分の住んでいる町」が砺波市なのか地域を指しているのかは分からない。ほかに「生活の中で笑うことが多いですか」の質問では全体の95%があると答えていた。笑いがあるというのは楽しいと捉える一方で、残りの数パーセントは家庭に問題があるのか、個人に問題があるのかは分からないが、配慮が必要なのかと感じた。ほかに意見はあるか。
教育長	夏休みが明けて運動会も終わり、少しほっとしたところだと思うが子供たちの様子はどうか。生活リズムが戻らない状態で無理に登校し長続きしないケースはあるか。
齋藤教育委員	
中学校長会長	存在する。笑えない家庭環境の子供たちもいるため本人たちと連携しながら取り組んでいる。夏休み明けは全国的に自死数が増える傾向があるため悩みを抱えている子供たちに気付いたり、気付かない子供がいたり。14歳の挑戦を機会に相談室登校の生徒が頑張ろうとするが、難しい場合もある。保護者や外部とも連携しながら一人一人大切に見守っていく。
教育長	本人の中で何か決めていることもあるため、いろいろな方法で柔軟

	に見守る必要がある。簡単な方法はない。
教育センター所長	教育支援センターひよどりの利用が増えている。親が送迎し定期的に通う子供が数人いる。新しい子供も少しずつ居場所として選んでくれている。
教育長	多様な学びの場を提供しながら小中連携や情報収集など継続して行っていく。
	それでは次回以降の開催日について。
事務局	次回、令和5年第10回定例会を令和5年10月25日（水）午前10時30分から開催したい。
	令和5年第11回定例会を令和5年11月21日（火）午前10時30分から開催したい。
	いずれも場所は、この東別館会議室で行うこととしたい。
教育委員	了承。
教育長	令和5年砺波市教育委員会第9回定例会の閉会を宣言する。